

新酒の目印 蔵元の誇り

新酒の初蔵出しを知らせる合図として、蔵元が軒下につるす「杉玉」作りが7日、山口市の徳地山村開発センターであった。裏方として酒蔵を支えてきた女性たちが「自分たちで作ってみよう」と2006年から始めた。県酒造組合女性部会「山口和らぎ会」の蒲文代会長は「この風習の復活を山口から全国に広げていければ」と話す。

(小西宏幸)

杉玉づくり 復活5年目



作成中の杉玉。この後、はさみで丸く整えられた＝山口市徳地堀

「美味になれ」と願い込め

周南、山口、岩国、萩などにある八つの蔵元から男女11人が参加した。

杉の枝を直径約7〜20センチの球状に細工した針金の芯に次々と差し込んだ後、枝切りばさみで丸く整えていった。杉の香りが漂う中、汗だくになりながら、5〜6時間かけて、直径30〜60センチほどの杉玉を完成させた。杉の枝は軽トラ7台分で、杉玉作りを支援する徳地観光協会の「杉玉会」が用意した。

和らぎ会によると、杉玉は江戸時代から続く風習で、青々とした杉玉が徐々に色あせていくことで、酒の熟成度の目安にもされている。

蔵元の多くは、来年2月ごろから初蔵出しを予定している。県酒造組合会長で、醸造元「はつもみぢ」(周南市)の原田茂会長は「戦後にいったん途絶えた風習を、和らぎ会が復活してくれた。杉玉作りには初めて参加したが、枝を差し込む作業が難しかった」と話した。

10月から和らぎ会の会長になった「八千代酒造」(萩市)の蒲さんは「女性でも出来る作業なので、続けていきたい。おいしい新酒になるよう願いをこめて作りました」と話した。

新酒の完成知らせる「杉玉」

蔵元が手作り挑戦 徳地



杉玉作りに精を出す蔵元関係者たち

蔵元が新酒の出来上がり
を知らせる看板として
「杉玉」作りが7日、山口
市徳地堀の徳地山村開発セ

ンターであり、県内の七つ
の蔵元から関係者12人が参
加した。
昔は蔵元の杜氏(とらひ)らが杉玉

を作っていたが、最近市
販品を代用することが多く
なったため、県酒造組合の
女性経営者らの会「山口や
わらぎ会」(浦文代会長、
10人)が手作り機会の場と
して5年前から始めた。
徳地観光協会のボランテ
ィアらが協力し、地元の豊
富な山林から杉の枝を切り
出し、軽トラック7台分を
会場に運び込んだ。

参加者たちは針金で球状
の芯を作ってつり下げた
後、芯の中心に向かって杉
の葉を差し込んでいった。
ある程度、杉の葉が入ると
枝切りばさみなどで丸くカ
ット。杉の葉がまばらなと
ころにさらに杉の葉を差し
込んでカットしていき、最
後にきれいな球状に仕上げ
る。杉の葉を密に差し込む
ことがポイントで、参加者
たちは3〜4時間かかって
30〜60センチの杉玉を完成さ
せた。
周南市の蔵元「はつもみ
ぢ」の原田茂会長(72)は忙
しい社員に代わって初参
加。「最初から杉の葉をし
っかり差し込むことが大事
みたい。最終的にはいい杉
玉にしたい」と話した。原
田会長は県酒造組合会長で
もあり「女性の会としてい
ろいろと活動していただい
ているのは全国でも誇り」
と感謝の意を表し、「山口県
の清酒は東京などでの人気
のほか最近では輸出もあり、
出荷量は3年連続して伸び
ている」と県産清酒の健闘
を紹介した。
浦会長(萩市、八千代酒
造)は「自分の蔵元を自分の

杉玉で飾るので自慢もでき
る。店に飾っていると来店
客との間で話題にもなる」
と効用を話した。杉玉は「酒
林」とも呼ばれ、醸造会社

が新酒の販売開始を告知す
る目印として軒下などにつ
るす。杉の葉の色の変化で
酒の熟成度も測れるとい
う。



杉玉作りに挑戦する女性たち

女性部会 初蔵出しの杉玉作り

県酒造組合の女性部会「山口やわらぎ会」の会員らが7日、山口市の山口徳地山村開発センターで、新酒の初蔵出しを知らせる杉玉作りに挑戦した。

杉玉を酒造期に造り酒屋や酒店の軒下にするのは、全国各地に伝わる伝統的な風習。会員らは杉の枝を、針金で作った球状の網に次々と差し込み、ハサミで直径30～60センチの球形に刈り込んだ。

8日に新酒を店頭に並べるといふ永山本家酒造場（宇部市）の永山千寿子さん（64）は「新酒が売れるようにと、願いを込めた。店に飾りたい」と笑顔で話した。

同会によると、新酒の多くは、今月～来年3月頃に蔵出しされるという。

日本酒で良い年に

新酒知らせ「杉玉」作り

県酒造組合は7日、が企画し、4年前から山口市の徳地山村開発センターで新酒の時期に酒店の軒下などに「杉玉」を作った。新酒ができる12月上旬、翌年2月の恒例行事で、県内の八つの蔵元から12人が参加した。

すがすがしい杉の香りの中、剪定ばさみを使って「ちよきちよき」と散髪のように葉の束を丸く刈り取っていた。女性の組合員でつく

る「山口やわらぎ会」【中尾祐児】



束ねた杉の葉を球状に刈る参加者

山口

山口支局 〒753-0078
 山口市緑町5-2
 電話083・922・5123 FAX922・5126
 yamaguchi
 @mainichi.co.jp

【通信部】

宇部0836・21・3118 萩 0838・25・1313
 防府0835・24・2851